



2024年10月25日

報道関係者各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

**第一線で活躍する建築家が選ぶ、優れた建築を生み出すことに貢献しうる建材・設備・IT 製品
「みらいのたね賞」14 製品と「ゲスト選考賞」1 製品を決定！**
住宅・建築関連専門展示会「Japan Home Show & Building Show 2024」で表彰・展示

日本最大級の住宅・建築関連専門展示会「Japan Home Show & Building Show 2024」(2024年11月20日～22日、東京ビッグサイト)を主催する一般社団法人日本能率協会(JMA、会長:中村正己)は、同展の開催を前に、優れた建築を生み出すことに貢献しうる優れた製品、未来への布石となる製品に贈られる「みらいのたね賞」14製品と「ゲスト選考賞」1製品を決定しました。

同賞は「Japan Home Show & Building Show」の公式アワードで、建築分野で活躍する選考員が、毎年、同展の出展製品を対象に、テーマに基づき優れた建材・設備製品を選出しています。

8回目となる今年は、ゲスト選考員として納谷 学氏(納谷建築設計事務所株式会社 代表取締役)を迎え、「～小さな気づきから～」をテーマに、「Japan Home Show & Building Show 2024」の出展製品約360点の中から「みらいのたね賞」14製品を決定しました。また、「ゲスト選考賞」として、ゲスト選考員が注目する1製品を決定しました。

今回受賞した製品は、「Japan Home Show & Building Show 2024」の各受賞企業ブースに展示されます。

11月21日には、選考員による選評や建材を主としたトークセッションを実施。選考員らとともに受賞企業のブースを巡る「みらいのたね賞ツアー」も毎日開催します。

実施スケジュールなどの詳細は、「Japan Home Show & Building Show 2024」公式サイトにてご案内いたします(<https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo>)。

なお、本展のご取材につきましては7ページの詳細をご確認いただければ幸いです。

■「みらいのたね賞」受賞製品(順不同・法人格省略) ※3～7ページで製品詳細、選評を紹介

製品名	会社・団体名	ブース番号
ウッドファスナー工法	木構造システム	1-J23
eco momii(エコモミー)	蝶理 GLEX	2-U02
AI 現場カメラサービス zenshot	SoftROID	2-W16
住宅仕様確定クラウドサービス『egaku(エガク)』	コムテックス	2-W19
樹脂製レジスター グレー・ブラック	バクマ工業	2-K08
真鍮プレート 4 スイッチ	アクシス	1-Z24
Smari 宅配ボックス	三菱商事	2-P08
【2025年1月リニューアル】ダクトレス熱交換換気システム「せせらぎ®S400」	パッシブエネルギージャパン	2-J09
トイレ内異常検知システム「Xeye」	三協エアテック	2-C08
パールテクトmoku	テンパール工業	1-D25
frocoat(フロコート)	日研工業所	2-C21
ポジカ®くっきり™ フィルム	三井化学	1-B01
マスタールーフィング	田島ルーフィング	2-U08
燃エンウッド®	竹中工務店	1-K20

■「ゲスト選考賞」受賞製品 ※8ページで製品詳細、選評を紹介

TETRAGON	GLORY	1-W20
----------	-------	-------

【展示会に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 丸山、小畑、石郷岡、瀧浪
TEL:03-3434-1988 E-mail:jhbs@jma.or.jp

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室 植草
TEL:03-3434-8620 E-mail:jmapr@jma.or.jp

「みらいのたね賞」概要

「みらいのたね賞」は、建築家が選ぶ、優れた建築を生み出すことに貢献する優れた製品、未来への布石となる製品に贈られる賞です。一般社団法人HEAD研究会が開催してきた「HEADベストセレクション賞」を継承して、一般社団法人日本能率協会が「Japan Home Show & Building Show」の公式アワードとして2017年にスタートさせ、今年で8回目を迎えます。

毎年ゲスト選考員を迎え、出展製品の中からテーマに基づき、約10製品を選定、表彰しています。



「みらいのたね賞」ロゴマーク

1. 選考員

ゲスト選考員



納谷建築設計事務所株式会社
代表取締役
納谷 学 氏

1961年 秋田県能代市生まれ、1985年芝浦工業大学 建築学科卒業
1985～87年 黒川雅之建築設計事務所、1985～87年黒川雅之建築設計事務所
1987～88年 野沢正光建築工房、1989年納谷学建築設計事務所設立
1993年 納谷建築設計事務所に改名、2005～12年昭和女子大学 非常勤講師
2007～現在 芝浦工業大学大学院 非常勤講師、2008～14年 日本大学 非常勤講師、
2016～現在 関東学院大学大学院 非常勤講師、
2022年納谷建築設計事務所(株)に法人化

選考員



ビルディングランドスケープ
共同主宰 / 芝浦工業大学
建築学部建築学科 教授
山代 悟 氏

1969年 島根県生まれ、1995年 東京大学大学院修士課程修了。1995-2002年 榎総合計画事務所、2002年 ビルディングランドスケープ設立 共同主宰。2002年-2007年 東京大学大学院建築学専攻 助手、2007年-2009年 東京大学大学院建築学専攻 助教、2010年-2018年 大連理工大学 建築与芸術学院 客座教授、2017年-2018年 芝浦工業大学建築学部建築学科 特任教授、2018年- 芝浦工業大学建築学部建築学科 教授、「Slanting CAVE」で2007年東京建築賞 第33回建築作品コンクール 戸建住宅部門 最優秀賞、「みやむら動物病院」で2016年第19回木材活用コンクール 林野庁長官賞、2017年東京建築賞 一般人類 優秀賞、2019年(平成30年)ウッドシティ TOKYO モデル建築賞 最優秀賞、「甲佐町住まいの復興拠点施設」でプロポーザル最優秀賞など。




山本想太郎設計アトリエ
代表/HEAD研究会
副理事長
山本 想太郎 氏

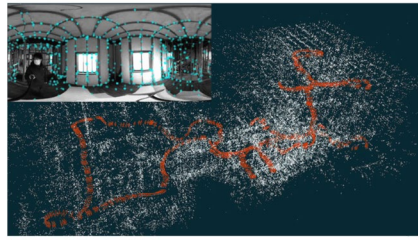
1966年東京生まれ。1991年早稲田大学大学院修了。1991～2003年坂倉建築研究所勤務。2004年山本想太郎設計アトリエ設立。現在、東洋大学・工学院大学・芝浦工業大学 非常勤講師。日本建築家協会デザイン部会長。HEAD研究会理事。主な建築作品として、南洋堂ルーフラウンジ、日本橋大伝馬町プラザビル、来迎寺本堂・庫裏、妻有田中文男文庫、越後妻有清津倉庫美術館など。主な著書・訳書として、『現代住居コンセプト』(共著、INAX 出版)、『建築家を知る/建築家になる』(王国社)、『イラスト解剖図鑑 世界の遺跡と名建築』(監修・訳)など。主な受賞歴として、オーストラリア建築家協会賞、AACAA賞、東京建築賞など。

2. 選考方法

みらいのたね賞は「～小さな気づきから～」をテーマに、「Japan Home Show & Building Show 2024」出展製品約 360 点の中から、1 次選考で選考員が 31 点に絞り、ゲスト選考員を加えた最終選考で 14 点を決定しました。ゲスト選考賞はゲスト選考員の注目する 1 製品を決定しました。

3. 「みらいのたね賞」受賞製品（※順不同）

<p>「ウッドファスナー工法」 木構造システム株式会社（ブース番号:1-J23）</p>	
<p>一般的には仕口に設けたスリットに、鋼板を滑り込ませて材の側面よりドリフトピンを打ち込みますが、ウッドファスナー工法はピンを斜めに打ち込むことで鋼板を省略したドリフトピン工法です。</p> <p>断面欠損が最小限ですので梁材の安全性が増すほか、金物が露出しませんので、意匠性が高く、湿気にも強い工法となっております。</p> <p>製作金物を必要とせず大断面にも対応可能です。研修等を必要とせず、施工も簡単な工法です。</p> 	<p>【選評】</p> <p>建築の脱炭素化への対応は、運用時の省エネルギーへの対応から、建設時の環境負荷の低減へと進んでいる。木造そのものが鉄骨造や鉄筋コンクリート造に比べて環境負荷は低いといえることができるだろうが、その中でさらに環境負荷を低減させ、施工性も向上させていく努力は求められている。中規模の木造建築においては鋼板挿入型の接合部も多く採用されるが、鋼板そのものも大きくなりがちであり、その部分の環境負荷は無視できない。ウッドファスナー構法は採用実績も多い GIR 工法を用いながら、それを複数組み合わせることで鋼板挿入の必要性をなくす工法として高めているところがユニークであり、今後の更なる発展が期待できる。(山代悟)</p>
<p>「eco momii(エコモミー)」 蝶理 GLEX 株式会社（ブース番号:2-U02）</p>	
<p>「eco momii」は原料に粉殻を使用した、接着剤不要のはめ込み式タイプの SPC フローリング。最大の特徴はエコで軽い事。SPC に粉殻パウダーを使用したエコな商品。一般的な SPC よりも約 25%軽量化。持ち運びやすく扱いやすい。傷・汚れ・水などに強く、土足 OK。抗菌機能や有害物質に対する検査をクリア。生活に密着した高い機能性と、リアルな質感に近いデザイン性で、住居だけでなく店舗や保育園等にも使用可能。</p> 	<p>【選評】</p> <p>このフローリングは床にただ置くだけの設置を前提としている。わずか 5mmの厚さでありながら、特殊な形状ではめ合わせることによってしっかりと接合され、下地に固定されていなくても安定した仕上げ面を形成することができる。主材料は SPC(ストーンパウダーを混入した PVC 樹脂)だが、独自の特徴として粉殻パウダーも混入している。粉殻を使用することで、エコ性のみならず、軽量化や加工しやすさなど、安定感と施工性のより高度なバランスが生まれている。DIY 的な使われ方を前提にした製品においても、深い技術的追求が新しい可能性をもたらしていることを、このフローリングはよく示している。オリジナリティのある色調や柄への展開にも期待したい。(山本想太郎)</p>
<p>「AI 現場カメラサービス zenshot」 株式会社 SoftRoid（ブース番号:2-W16）</p>	
<p>360 度カメラを持って建築現場の中を歩くと、動画から AI が自動で画像解析を行い歩行ルートを算出。</p> <p>図面上に 360 度画像データをマッピングすることで建物内部の網羅的なストリートビューを短時間で簡単に作成することが可能です。</p> <p>遠隔から進捗状況を確認することで移動時間削減や、アフターまで見据えた品質管理にも活用されています。</p> <p>設計や営業とは異なり IT で効率化しづらい「作業現場の DX」を実現するサービスです。</p>	<p>【選評】</p> <p>建設現場の人手不足は深刻であるが、それは職人だけではなく、知識や経験を有した現場監督にも言える。住宅建設においては複数棟を同時に監督することが必要となるが、移動時間だけでも多くの時間が取られてしまい、結果として各現場への訪問回数が減少してしまう。本製品は監督や職人が 360 度カメラをもって歩くことで、動画から現場内の複数視点からの全方位画像を生成するものである。近い作業は一般的な 360 度カメラを用いれば可能であるが、クラウド上でそれをマッピングされた状況で行えること、そ</p>



して時間を遡って同じ場所の施工前後を比較検討できるという機能はユニークかつ有用なものである。(山代悟)

「住宅仕様確定クラウドサービス『egaku(エガク)』」

コムテックス株式会社(ブース番号:2-W19)

カタログ準備や資料作成、お施主様との打合せなど、住宅の仕様決めにかかる業務の効率化を支援するクラウドサービスです。取り扱う住設商品を集約するため、紙のカタログは不要です。お施主様が事前に自宅で住宅仕様をセレクトし、打合せ時間も 1/2 に短縮可能です。また、プランシート・仕上表の自動作成と電子サインが可能のため、転記ミスや関係者間で認識齟齬が生じてしまうといった課題を解決します。



【選評】

住宅設計において仕上仕様や設備機器の選定は、設計業務のごく一部であるにも拘らず、非常に時間がかかり認識のずれによるトラブルにつながりやすい部分であろう。言った、言わないのやりとりが発生しやすい場面である。この部分をクラウド化したプラットフォームを使用し、打ち合わせの前や後にじっくりと話し合ってもらい、納得したところで仕様確定の承認をもらえるという本製品は、ピンポイントでありながら効果の大きなものであると言えるだろう。包括的なサービスも重要であるが、機能性を絞ることで使いやすいものとなっているのが魅力的である。(山代悟)

「樹脂製レジスター グレー・ブラック」

バクマ工業株式会社(ブース番号:2-K08)

室内給気の樹脂製レジスター、室内のクロスに合わせて目立たないようにホワイトが一般的ですが、昨今、クロスを選択肢が増えアクセントクロスなどカラーのクロスにはホワイトでは逆に目立ってしまいます。そこで当社ではいろんな色に調和するグレーやダークな色の対応やアクセントとしても使えるブラックをラインナップ。室内空間の多様性に新たな選択肢をご提案いたします。



【選評】

ほとんどすべての建築の外壁・内壁に設置される給排気口のカバーも、多くの設備機器や配管など同様に「見て見ぬふり」の対象となっている。配慮する設計者は、それを何とか目立たないところに配置するように努力する。この建築と設備のよそよそしい関係は、近代建築デザインが長く保留し続けてきた問題であり、多くの設備機器はその扱いに甘んじて、建築意匠とどのように関係していくかという点に積極的に取り組んでいないように思われる。このメーカーが、形状のデザイン性に加えて、幅広くブラック、グレー色の製品を標準ラインナップすることは、そこに一石を投じている。色の選択肢が増えるだけで、その建築デザインにおける役割の可能性が格段に広がることは間違いない。(山本想太郎)

「真鍮プレート 4 スイッチ」

株式会社アクシス(ブース番号:1-Z24)

真鍮ははじめ表面に輝きがありピカピカとしていますが、手に触れるごとに渋い独特の風合いに変化してゆきます。毎日使う中でただ古くなってしまいうのではなく、お家と一緒に年月を重ね、変わってゆくことが楽しみになる存在です。



【選評】

一般的な電気スイッチの形状や色は、①機能性を重視しあまり見た目には配慮されていない、②シンプルな見た目で空間意匠を損ねないよう配慮されている、のいずれかであることが多い。しかしそれが生活に絶対に欠かせない建築要素であることを考えるならば、このスイッチのように見られること、そして空間意匠に影響を与えることを前提とするほうが、むしろ本来のあり方のようにも思える。いずれにしてもこのような製品の存在は、設備機器もまた空間意匠の要素であるという意識を設計者に与える。建築と設備との関係性において、この小さな気づきの意味は、決して小さくない。調光装置や多様なコンセント類など現代的な要求への対応が進めば、使われる局面も一気に増えそうである。(山本想太郎)

「Smari 宅配ボックス」

三菱商事株式会社(ブース番号:2-P08)

Smari 宅配ボックスは既存の宅配ボックスに QR シールを貼るだけで荷物の発送ができるサービスです。利用方法は①スマホで受付、②QR シール読み、③荷物投函と暗証番号入力のみ、送り状も不要です。発行者・受取者の情報をスマホで処理して宅配業者と連携することで、ご自宅の宅配ボックスからメルカリ発送や EC 返品が可能になりました(2023 年ビジネスモデル特許取得済)。更なるサービスを拡充していくことで誰もが簡単に発送できる世界を目指していきます。



【選評】

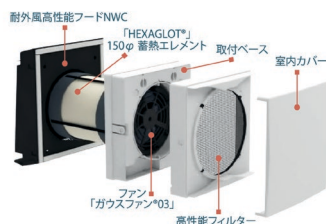
自宅(戸建て、マンション)の宅配ボックスに荷物を入れるだけで、メルカリや ZOZO などの EC サービスによって集荷、発送されるという仕組みと一体となった製品。駅やコンビニに設置された集荷マシンでも同様のサービスを提供するようだが、やはり自宅から直接(のごとく)先方に届くというシステムには特にインパクトがあり、移動のエネルギーやモノの存在感に対する意識が希薄になるのではないかと危惧してしまうほどヴァーチャル性が高い。しかしそれは一方で、人をとりまく生活環境が、もはや建築や都市といった空間によって規定されるものではないという、高度通信インフラ時代の感性をよく反映しているともいえる。まさに建築、建材という概念の未来像を示唆する製品である。(山本想太郎)

「【2025 年 1 月リニューアル】

ダクトレス熱交換換気システム「せせらぎ®S400」

パッシブエネルギージャパン株式会社(ブース番号:2-J09)

「せせらぎ®S400」は、窓を閉め切っても、常に新鮮な空気を室内に取り込むことができるダクトレス熱交換換気システムです。本体内蔵の蓄熱エレメントは、業界最大値の熱交換効率【93%】。快適な室内環境を維持しつつ、冷暖房エネルギーとコスト削減に貢献します。ダクトレスだからお手入れも簡単。ファンユニットは丸ごと水洗いが可能で、お施主様ご自身でいつでもメンテナンスが可能です。



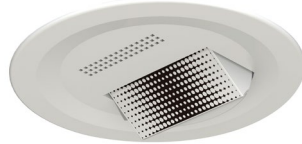
【選評】

24 時間換気が義務化され、建物内の熱環境を維持することの矛盾が問われてきました。これまで天井内にダクトを切り回すため設置場所を選ぶのに苦労していた熱交換の機能をそのままに、壁付で設置できることで設置場所の自由度があがるのが大きな評価になりました。また、コントローラーを使うと 8 台までの制御ができるということは、住宅であればすべての部屋を一台のコントローラーで制御できるのが嬉しい。それに高性能のフィルターを備えているにも関わらず、年に一度のファンユニットの掃除に食洗機が使えるのは、目から鱗的な提案。今後の更なる機械の小型化と内外部のカバーデザインへの配慮に期待したいと思います。(納谷学)

トイレ内異常検知システム「Xeye」

三協エアテック株式会社(ブース番号:2-C08)

人の骨格だけを捉える骨格分析技術を用いて、プライバシーに配慮しつつトイレ内の異常を検知するシステムです。独自の人工知能技術を利用することで、骨格分析から得られた行動を解析し、対象者の位置や姿勢から「体調不良」や「迷惑行為」などを判定します。異常時のみ管理者に通知し、急病人の早期発見や対処、迷惑行為や犯罪行為の抑止に貢献します。監視や防犯を目的としたカメラの設置が困難なスペースでも利用可能です。



【選評】

トイレなどカメラが設置できないところや人の目が行き届かないところをどう管理するか？この問いに現代の IT 技術を使ってストレートに応えた商品だと思います。そして、欲しかった。住宅内での事故の発生が高い場所は、浴室とトイレと言われています。公共の場だけではなく、家庭内でも十分ニーズのある製品だと思います。ましてこれからは少子高齢化の時代、多くの老人を少ない労働で管理するための大きな一歩だと思います。大きな枠組みができたわけですから、今後のソフトの使い易さなど使う人に寄り添った製品に仕上げてもらいたいと思います。(納谷学)

「パールテクトmoku」

テンパール工業株式会社(ブース番号:1-D25)

「パールテクトmoku」は、当社の住宅用分電盤パールテクトをベースに、筐体を不燃性木材と鋼板で構成し、プラスチックの使用量を大幅に削減しています。扉の意匠と加工は、同じ広島県を拠点とし、精緻で優れたデザインの木工家具を製造するマルニ木工が手がけています。思わず手を触れてみたくなるような温かみのある分電盤は、日々の暮らしを心豊かに彩ります。



【選評】

1 棟の建物には必ず分電盤があります。この商品を見た時、やっとここまでデザインの手が届くようになったかという印象を持ちました。設備に関わるものは、得てして機能的で技術的な点が 100 として考えられていますが、現状の住宅ではなるべく目立たないところを探して設置されています。絶対必要なものだけど見せたくない。ならば見てもいいものにすればいいじゃないか。それを叶えた商品です。これは単に扉を木にしたという表層の話ではなく、分電盤の場所にデザインの手で自由度を与えた最初の分電盤という評価です。さらに異業種のコラボレーションによって生まれたことがみらいを予感させます。願わくは箱も木で作って欲しかったけれど、これは近いみらいに期待したいと思います。(納谷学)

「frocoat(フロコート)」

株式会社日研工業所(ブース番号:2-C21)

老舗工業塗装メーカーが手がける浴室塗装リフォーム事業です。F☆☆☆☆(フォースター)・SIAA 認証(防カビ)の弊社オリジナル塗料で安心・安全に浴室をリフォームします。浴室入れ替えに比べ 1/3 程度のコストに抑えることができますので『お風呂のツヤが無く、カビが増えてきた』『浴槽が割れた』『お風呂のリフォームをしたいけど高額…』そんなお悩みにフロコートをご提案いたします。



【選評】

カタログを見た時には、正直言って少し疑わしい通販の DIY 商品のように思いましたが、実際のサンプルを見て驚愕のあまり笑ってしまいました。光沢がハウロウの塗装のような塗膜の厚さを感じるし、まったく安っぽくない。吹付け施工なのでハケムラもなく新品の製品と同様の光沢を甦らせます。世の中でリノベーションが急増している中、工期が短くコストを抑えられるこの商品は、現状でも多くのニーズがあると思いますし、リノベーションのきっかけの多くは水周りの改善から始まることが多く、予算を抑えるリノベーションには絶対必要なアイテムとなるはずで。さて、この次の展開はどうなるのでしょうか。また私を驚かせてください。(納谷学)

「ポジカ®くつきり™ フィルム」

三井化学株式会社(ブース番号:1-B01)

窓からの景観を、自然でより色鮮やかに見せるウィンドウフィルムです。施設をご利用されるお客さまに、お部屋からの景色をゆっくり楽しんでいただきたい、そんな施設様、設計者様におすすめします。眩しさを感じやすいエロライトをカットすることで、景色の眩しさをおさえます。また、UV光 99%カットで、お客さまを日差しから守るだけでなく、絨毯や、カーテン、家具などの内装材の日焼けを抑え、耐用年数をアップします。



【選評】

建築は金庫のように完全に外部を遮断する箱ではなく、自身の出入りはもちろん、日光、新鮮空気、そして眺望のように必要なものを選択して透過させている。つまり建築の中から風景を見るという行為は、建築というフィルターを通した外界の体験である。黄色域の光を選択的にカットして明瞭度の高い印象的な映像をもたらすこのウィンドウフィルムを見て、そのようなことを考えさせられた。美しい風景に出会うとすかさずスマートフォンで撮影し、デジタル処理によってつくられた「映える」画像を見て悦に入ることが当たり前となった現代、窓にも新たな性能として色調調整が求められるようになるのか、なんとも気になる。これからの展開が楽しみな製品である。(山本想太郎)

「マスタールーフィング」

田島ルーフィング株式会社(ブース番号:2-U08)

マスタールーフィングは、防水性、強度、防滑性、そして耐久性など、下葺材に求められるあらゆる機能で、優れたパフォーマンスを誇ります。アスファルトをバリア層(劣化防止層)で挟みこむことで、アスファルトの劣化を防ぐことに成功。60年以上の耐久性を実現しました。当社ラインナップのハイエンドモデルとして長きにわたり、確かな品質と機能で建物を守ります。



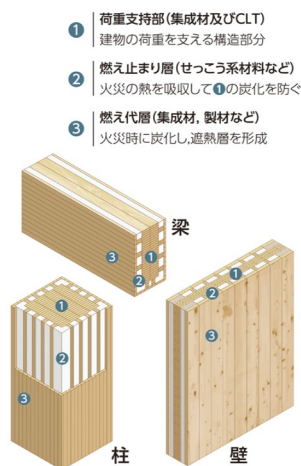
【選評】

防水という性能を必要としない建築は存在しない。風雨から人々と家財を守り、命に直結する役割が建築そのものの存在意義だからである。風雨や高温低温に晒される部位であるにも拘らず数十年にわたって性能を発揮し続ける必要があるため、その製品開発には慎重さが求められる。そのためか、なかなか斬新な新製品が生まれにくい分野だと言えるだろう。本製品は防水性能を担保するアスファルト層を、劣化防止層でサンドイッチすることで性能の低下を防ぎ、60年という長期にあたる性能維持を可能としている。これは利用者の安心安全につながることも、環境負荷の低減にも大きな役割を果たす、外見には現れにくいが高価値ある進化と言えるだろう。(山代悟)

「燃エンウッド®」

株式会社竹中工務店(ブース番号:1-K20)

「燃エンウッド®」とは「燃えない木」と「エンジニアウッド」の造語で、集成材などからなる、耐火性能を有する構造体(柱、梁、耐力壁)です。火災時には、外側の集成材(燃え代層)が炭化することによる遮熱効果と、モルタルや石膏など(燃え止まり層)の吸熱効果で、内側の建物を支える集成材(荷重支持部)を守ります。3時間耐火仕様の追加により、建物を階数に制限なく、木造でつくるができるようになりました。



【選評】

中大規模木造建築の普及を考えていく際に、都市的な立地が可能であることは必須であり、耐火構造が重要な役割を果たす。本製品は20年以上にわたって技術である。中央の構造をなす柱や梁の外周には仕上げともなる木材があるが、その間にモルタルでできたバーがサンドイッチされているユニークな断面をもっている。部分的に外の木材と構造材が木で繋がっていることで燃え込んでしまおうに感じるが、外部仕上げの木の炭化による効果と、モルタルが熱を吸収する効果で火は内部の木構造部まで燃え続けることができない。実績とバリエーションを増やしてきていて、これからの100年単位の未来をつくる技術だといえるだろう。(山代悟)

4.「ゲスト選考賞」受賞製品

<p>「TETRAGON」</p> <p>株式会社 GLORY(ブース番号:1-W20)</p>	
<p>デザインされた空間にシャープラインの光でベース照明でも間接照明でも自由な光の演出が可能。オフィス、ホテル、商業施設など、使用できる空間は多岐にわたります。AC100V 直結使用で電源アダプターが不要。L字/ T字/十字のランプユニットを用意、口の字/日の字/田の字など四角に組み輝かせる演出が可能。サイズは最短 156mmから 2356mmまでの 18 種類。直付け/埋め込み/配ダク/吊り下げペンダント照明など幅広い使用用途を実現。</p>	<p>【選評】</p> <p>元々スリムで細いラインが好評の照明器具の商品です。光が途切れることなく機器を連結できて、これまでも調光タイプもあって機器自体がコンパクトに仕上がっています。しかし、これまでは連結といっても直線的にしか連結できなかった端部の納まりを、TETRAGON は直交させて連結できるようにしています。その小さな気づきによって、口の字型、日の字型、田の字型など、シームレスな光の演出を可能にしています。元々間接照明用にはさまざまな照明機器がありますが、どちらかというとな裏方的な使われ方です。TETRAGON はこの気づきによって様々な空間にダイレクトに使用できる可能性を提示したのではないのでしょうか。(納谷学)</p>
	

5.「みらいのたねトークセッション」開催概要

- ・開催日:2024年11月21日(木) 15:05~15:55
- ・会場:東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場) 東1ホール内 JHBS ステージ B
- ・登壇者:納谷学氏、山代悟氏、山本想太郎氏
- ・申込方法:https://www.jma-exhibition.com/autumn/jp_jhbs/registration_seminar.phpからの事前申込制(無料)

6.「みらいのたね賞 ツアー」開催概要

- ・開催日:2024年11月20日(水)14:00~15:00
11月21日(木)16:00~17:00
11月22日(金)10:30~11:30
- ・同行者:納谷学氏(21日のみ)、山代悟氏(21日のみ)、山本想太郎氏
- ・参加方法:会場内みらいのたね賞ツアー集合場所にお集まりください。(参加無料・事前登録制です。※当日参加も可能です。)

「Japan Home Show & Building Show 2024」開催概要

総称	Japan Home Show & Building Show 2024	
主催	一般社団法人日本能率協会	
共催	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会／一般社団法人リビングアメニティ協会 一般社団法人住宅生産団体連合会／公益社団法人日本建築家協会	
後援	外務省／経済産業省／国土交通省／林野庁／独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)／ 独立行政法人住宅金融支援機構(順不同)	
協賛	関連 130 団体(予定)	会場 東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場) 東展示棟
会期	2024年11月20日(水)~22日(金) 10:00~17:00	
出展規模	318社/550 ブース(10月25日現在)※共同出展者含む	
公式サイト	https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo	
来場方法	https://www.jma-exhibition.com/autumn/jp_jhbs/registration.php から事前登録をお願いします	
来場予定者数	約 27,000 人(同時開催展含む)	
同時開催	JAPANTEX 2024／第9回アジア・ファニッシングフェア2024	

取材申請について

取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「会場案内図」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

事前登録:「取材お申込みフォーム」からご登録ください。 <https://www.jma.or.jp/press/>

『事前登録いただいた際の返信メール』のプリントアウトとお名刺 2 枚をご用意の上、「プレス受付」にお越しください。

■プレス受付(プレスルーム)の開設日時、場所

開設日時	2024年11月20日(水)~11月22日(金) 9:30~17:00
場所	東1商談室(2)

当日、取材に関するお問い合わせがございましたら、プレスルームにお立ち寄りください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材／編集／報道に関わる方が対象です。

報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております

(上記の方は、一般登録でご入場いただけます)。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

◆講演・セミナーをご取材される際のお願い

取材される場合は、対象者の了解のもと行ってください。

講演に使用された投影パワーポイント、配布資料およびテキストなどの無断転載は固くお断りいたします。

講演内容を掲載する場合は、必ず講演者に許可を得てください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【展示会に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 展示会ヘルプデスク

E-mail: helpdesk@k3c.co.jp ※件名に「展示会名」を入力してください。

TEL: 03-6809-1635 (受付時間 9:30 ~18:00 土・日・祝日を除く)

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室 : 植草

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

TEL: 03-3434-8620 E-mail: jmapr@jma.or.jp

以上